



日本共産党平塚市議会議員団

団長 松本 敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

幹事長 高山 和義

電話・fax 31 4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

渡辺 敏光

電話・fax 31-6431

w-toshi@adate.plala.or.jp

日本共産党議員団の法律相談

今回は6月8日(土)です。

午後1時から (要予約)

日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463 - 23 - 1111 (内線 2375)

平塚市浅間町 9 - 1 平塚市議会控室

No.1216 2013年5月12日発行

1市2町 ゴミ処理広域化推進事業



今年10月に稼働予定の「次期環境事業センター」

いよいよ、大神に建設中の「次期環境事業センター(ごみ焼却施設)」が10月から稼働となります。

この施設の建設は、平成22年5月17日から平成25年9月末迄を予定しており、建設工事費の総額は113億9,887万5,600円となっています。

このごみ焼却場は、DBO(デザイン・ビルド・オペレート)方式といって、民間が施設の設計・建設・運営・維持管理を一括して行い、市は施設の所有、資金調達を行う方式で契約しています。

この運營業務委託契約が切れる20年後まで、1市2町がそれぞれの人口、処理量をもとに按分して負担していきます。

ここで発生する熱は売電され、運営費の一部として事業者の収入となりますが、売電収入が5%を超えた場合は、分配することになっています。

1市2町(平塚・大磯・二宮)
広域ゴミ処理施設の配置と稼働予定

表 24 平塚・大磯・二宮ブロックの広域処理施設の配置計画

施設の種別	対象ごみ	平塚市	大磯町	二宮町
高効率ごみ処理施設(焼却施設)	可燃ごみ 中間処理施設 可燃物処理	H25~可燃 (稼働中)	H25~可燃	H28~可燃
衛生型資源化施設(中間焼却を含む)	可燃ごみ (生ごみ)	H25~ 生ごみの一部	H25~生ごみ	H28~生ごみ
粗大ごみ処分処理施設	不燃ごみ、 粗大ごみ	不燃・粗大 (改修)	H25~ 不燃・粗大	H27~ 不燃・粗大
リサイクルプラザ リサイクルセンター	資源ごみ (空き缶、 びん、ペットボトル、 資源回収 プラスチック)	H25~PET・P リサイクル プラザ	H25~ 缶・びん H25~30 PET・P H28~ PET・P	H28~PET・P リサイクル センター H27~ 缶・びん
衛生型資源化施設	衛生焼	H27~ 衛生焼	H27~ 衛生焼	H27~ 衛生焼
最終処分場	不燃残渣 等	○		
不燃物処理施設	不燃残渣 等			△
し尿処理施設	し尿、浄化 槽内処理		◎ (稼働)	○ (準備)

◎:新設、○:既設利用、△:時期未定

大磯町で生ゴミを処理する 厨芥類（ちゅうかいるい）資源化施設とは

厨芥類資源化施設

厨芥類資源化施設とは、生ゴミを発酵させることにより、バイオガスを回収したり、堆肥として利用したりして、生ゴミを資源化する施設のことです。

1市2町が進めている「ゴミ処理広域化計画」では、この「厨芥類資源化施設」を大磯町に建設し、平成29年度から供用開始を目指しています。

（1ページ目の右表の「施設の種類」の2段目に記載）

施設での資源化の方法と規模

収集された可燃ごみから厨芥類のみを分別し、バイオガスを取り出しメタン化します。メタン発酵後の汚泥は、高効率ごみ発電施設（ゴミ焼却場）に運んで焼却する計画となっています。

この厨芥類資源化施設は、大神へのゴミの運搬を抑制するためにおこなうもので、現時点では大磯町、二宮町、平塚市の一部の可燃ごみを処理することを想定しており、前処理設備の施設規模は38t/日、メタン発酵設備は17t/日としています。

平塚市の一部とは

はじめ市は、旭地域の3万人を対象としていましたが、出来るだけ集まりやすいよう市内全域を対象とし、自治会単位で手を挙げてもらい、その自治会には

指定袋制が導入された場合に、無料で提供することを検討しているといえます。

厨芥類資源化施設の建設費

前処理施設とメタン発酵施設の2施設を建設することになる。

* 前処理施設・・・5億1300万円

* メタン発酵施設（乾式）
・・・5億7800万円

* メタン発酵施設（湿式）
・・・9億8600万円

（乾式で計約11億円、湿式では計約15億円）

メタン化による売電は・・・

市は、大磯（人口約3万3000人）、二宮（約3万人）、平塚3万人分・・・計9万人の厨芥類、1日17tの発酵設備では、売電までは難しいとしています。

他の自治体での実施状況は

神奈川県内で、厨芥類資源化施設を持っている自治体はまだありません。藤沢市が6月から試験的に指定した地域で実施してゆく方針を出しており、5月中旬に地域説明会が開かれます。

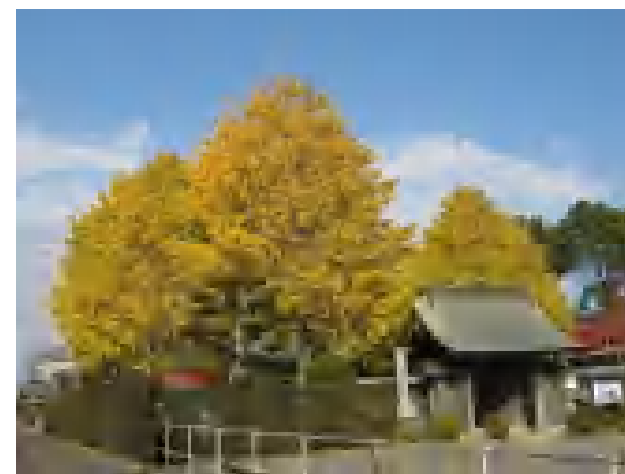
ごみの減量化、燃やさない、資源化という方向性の中で、最良の方法を皆さんと考えていきたいと思えます。

大磯町議会では5月20日（月）9時半から、総務建設常任委員会が開催され「1市2町ごみ処理広域化における厨芥類資源化施設について」の議題が審議されます。厨芥類資源化施設の導入調査の結果も報告される予定です。

平塚市が「景観重要樹木」募集



平塚市総合公園のメタセコイアの並木



いま、平塚市では、地域の景観形成に大切な役割を果たしている樹木を「景観重要樹木」として指定するため、皆様から樹木の応募を受け付けています。

第1回目に指定された樹木は、左の「総合公園のメタセコイアの並木」とのこと。

皆さんの周りに、素晴らしい枝ぶりや木、樹が作り出してくれる景観など、地域に親しまれている樹木があるのではないのでしょうか。

開発などで、なくなっていく樹木もあります。是非、みんなに親しまれる木や景観を大切に守っていききたいですね。

（掲載した写真は参考までに）

応募は下記まで。
まちづくり政策課
(0463-21-8781)

